

平成28年度 行政評価 施策カルテ

施策名	4 環境と調和した農林業の推進
-----	-----------------

施策主管課	農林生産流通課	総合計画記載頁	142ページ
-------	---------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	19 農林業の付加価値を高める	政策の達成目標 (基本施策目標)	農林業を支える多様な担い手が育ち、生産力や産地力の向上、良好な農村環境の形成など、総合的に農林業の付加価値が高まっています。
------	----------------------------------	----------------	-----------------	---------------------	--

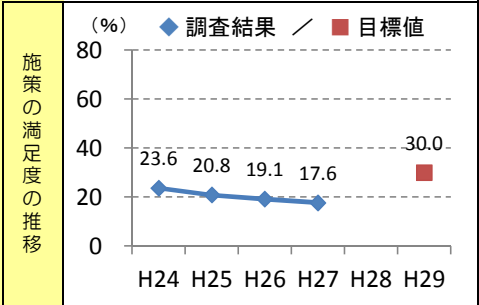
2 施策の取組状況

施策目標	環境と調和した農林業を推進し、農林業が持つ多様な公益的機能が維持・向上しています。
------	---

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果 指標3	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標1	エコファーマーの認定者数	単年度目標値	760	770	780	790	800			810	C	調査結果	施策の満足度(%)	23.6%	20.8%	19.1%	17.6%	
現状値			690	実績値	666	640	556	490	目標値(H29)	30.0%	前年度からの増減				-2.8%	-1.7%	-1.5%		
目標値(H29)			810	単年度の達成度	87.6%	83.1%	71.3%	62.0%											
指標2		エコファーマーの認定者数	単年度目標値							【参考】中核市等との水準比較	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)	指標名(単位)							
			現状値	実績値															
			目標値(H29)	単年度の達成度															
	エコファーマーの認定数(人)	単年度目標値								中核市平均		308.2	242	194.1	164				
		現状値	実績値							実績値		666	640	556	490				
		目標値(H29)	単年度の達成度							中核市での本市の順位		5位/41市中	4位/41市中	4位/42市中	6位/43市中				
エコファーマーの認定数(人)	単年度目標値								中核市平均										
	現状値	実績値							実績値										
	目標値(H29)	単年度の達成度							中核市での本市の順位										

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 減進型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	・農地周辺環境を保全する取組である多面的機能支払交付金制度により、市内農振農用地の約38%で環境保全活動が取り組まれている。 ・材価の低迷や林業従事者の高齢化などにより、森林の施業面積が減少傾向にあり、森林の持つ公益的機能の維持増進に懸念が生じている。 ・イノシシの生息域の拡大による農作物被害が深刻化しており、被害が多発している場所などにおいて個人捕獲には限界があることや、捕獲者の高齢化等に伴い、イノシシの埋設処分が負担となっていることから、従来の方法ではイノシシ対策が困難になっている。	市民満足度	・環境と調和した農林業の推進については、地域住民や官民が一体となった農地・農村環境保全管理活動等が行われていることから、平成27年度の市民意識調査においても横ばいの結果になったと考えられる。	総合評価	65点
施策指標	エコファーマーの認定数が中核市全体として減少傾向にあり、本市の農業者においても、エコファーマーとして生産することのメリットが感じられないなどの理由から認定者数が減少している。 その一方で、減農薬・減化学肥料により栽培される特別栽培米の生産は年々増加しており、環境に配慮した生産に取り組む農業者は増加している。				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業の目的	事業内容		事業の 進捗状況	H27 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	環境保全型農業直接支援対策事業	○★	環境にやさしい農業の推進	・宇都宮市内の農業者等	・化学肥料・合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動及び自然環境の保全に資する農業生産活動を推進する農業者の組織する団体等への支援	計画どおり	38,877	H23		平成27年度からの法制化により、「農業者の組織する団体」が取組対象者となり、従来の取組に加え、「自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動の実施を推進するための活動」の推進が必要となったことから、地域で広がりをもって取り組むことで多面的機能の発揮の促進が図られ、地域における共同活動が推進されるよう、制度について十分に周知を行い取組を進めていく。
2	環境保全型農業生産振興対策事業補助金	○	資源循環型社会の構築に向けた生産環境の整備	・宇都宮農業協同組合、農業生産法人、農事組合法人、その他農業者の組織する団体	・環境に配慮した農業用廃ビニール適正処理等に係る経費の一部補助	計画どおり	1,539	H15		農業用廃ビニールの適正処理は定着してきており、今後、廃棄物の発生抑制を図るため、環境保全型農業につながる技術や農業資材の導入・普及を推進していく。
3	環境保全型農業生産施設等整備事業補助金	○	環境に配慮した農業の普及・定着促進	・宇都宮農業協同組合、農業生産法人、農事組合法人、その他農業者の組織する団体	・環境保全型農業に取り組むために必要な施設・機械等の導入費用の一部補助	計画どおり	1,920	H13		剪定枝粉砕機導入の補助を実施するとともに、減化学肥料・減農薬による環境にやさしい生産方法の推進や再生可能エネルギーを活用した新技術の導入など、環境負荷を軽減するための取組を検討していく。
4	水田農業構造改革事業交付金(再掲)	○★	・特別栽培米の生産振興による環境に配慮した農業の推進	・宇都宮市農業再生協議会	・宇都宮市農業再生協議会が実施する農業者への支援事業に対する助成	計画どおり	71,857	H16		市及び宇都宮農業協同組合等で組織する宇都宮市農業再生協議会事業により、国の「経営所得安定対策」による取組と相互補完することで、効率的かつ安定的な水田農業経営の確立を目指している。農業・化学肥料の5割以上の削減により栽培する「特別栽培米」の生産振興に取り組むことにより、環境保全型農業の普及を図るとともに、多様な消費者ニーズに対応した付加価値の高い米づくりを推進する。
5	バイオマスタウン推進事業	○	循環型社会の形成の実現	市、市民、農協、森林組合等の地元経済団体	・バイオマスタウン構想の実現に向けた調査・研究	計画どおり	40	H19		水稲栽培におけるたい肥施用効果に関する共同研究結果を生産者に周知し、地域内資源循環農業の取組拡大を図るとともに、新たな利活用方策を検討するため、専門的な見地から農林業系バイオマスの有効性について調査研究に取り組んでいく。
6	菜の花プロジェクト推進事業補助金	○	・遊休農地の解消 ・農村地域の活性化 ・バイオマスの有効利用 ・環境負荷の低減の推進	・宇都宮菜の花プロジェクト推進協議会 ・営農集団、農家を含む任意団体等	・宇都宮市菜の花プロジェクト推進協議会による普及啓発活動の実施 ・菜の花プロジェクト(菜の花の栽培等)に取り組む団体等への補助	計画どおり	300	H20		菜の花プロジェクトにおける、搾油した菜種油の消費の拡大や廃食油の回収・リサイクル等の資源循環の取組については、費用対効果の問題があることから、協議会において十分な議論を行い、今後のあり方について検討していく。
7	多面的機能支払交付金〔農地維持・資源向上(共同)支払・資源向上(長寿命化)支払〕	○	・農地・水環境の保全活動の推進	農業者、地域住民等により組織された活動組織	・水路法面の草刈や泥上げ、農業施設の補修など、農地の持つ多面的機能の維持・発揮に向けた活動に要する経費の補助	計画どおり	44,485	H19		平成27年度に法制化され、継続的・安定的な事業とする必要があることから、農地等の多面的機能の維持・発揮に向け、継続した活動支援を行うとともに、今後は、活動エリアの拡大を図れるよう、関係機関への働きかけを行っていく。
8	県営経営体育成基盤整備事業負担金	○★	・農業の多面的機能の十分な発揮 ・生産コストの低減 ・担い手への農地利用集積の促進	栃木県(県営負担金)	基盤整備事業実施に要する経費の負担	計画どおり	76,547	H15		農村環境や水辺環境の保全など、多面的な機能が十分発揮されるよう、環境に配慮した土地改良事業を推進するとともに、基盤整備の実施を通じて担い手への農地利用集積を促進していく。
9	鳥獣被害対策事業補助金	○	有害鳥獣による農作物への被害防止	有害鳥獣捕獲従事者等	防除対策、捕獲対策、環境整備に係る経費の一部補助	計画どおり	1,913	H20		イノシシの生息域の拡大に伴うイノシシ被害を軽減するため、被害者自らが対策を講じられるよう、補助制度の周知を徹底し、わな免許取得やわな購入の支援に取り組んでいく。

10	鳥獣被害対策事業報償金	○★	イノシシによる生活環境又は農作物等の被害軽減	捕獲許可を受けた捕獲従事者	イノシシを捕獲した者に対する報奨金の交付	計画どおり	3,396	H20		捕獲者の高齢化及び担い手不足などの深刻な課題を解消するため、平成28年度から実施部隊を設置し、実施部隊による組織的な捕獲や集落一体となった被害対策を実施するとともに、捕獲したイノシシについて収集・運搬及び焼却処分を委託し、捕獲者の負担軽減を図っていく。
11	民有林整備事業補助金	★	民有林整備の計画的及び効率的な推進	・宇都宮市森林組合 ・市と森林整備計画の協定を締結した者	造林、下刈り、間伐などによる民有林の整備に対する補助	計画どおり	11,767	S54		材価の低迷や林業従事者の高齢化などにより施業面積が減少傾向にあることから、森林の持つ公益的機能を維持するため、森林組合等が実施する下刈りや間伐など整備の支援に取り組んでいく。
12	造林費単独		市有林の適正管理	市有林	植栽や間伐など森林整備	計画どおり	8,972	S44		市有林の林齢が高まってきており、皆伐時期の選定や樹種の転換などの課題があることから、森林の持つ公益的機能を維持するため、皆伐・環境に配慮した少花粉スギの植栽や間伐など、適正な森林施業に取り組んでいく。
13	森林整備計画推進事業		計画に基づく森林の適正管理	地域森林計画対象民有林(7,722ha)	・森林組合や森林所有者への指導等 ・森林経営計画の作成指導等	計画どおり	0	H10		森林施業の適正な実施に向け、森林の持つ公益的機能を維持するため、森林組合や所有者に普及啓発・指導を行うとともに、森林組合と連携を図りながら森林経営計画作成の指導に取り組んでいく。
14	森林ボランティア育成事業		ボランティア等による健全な森づくりの促進	宇都宮森林ボランティア会員	・森林組合や森林所有者への指導等 ・森林経営計画の作成指導等	計画どおり	58	H13		森林・林業への理解を深め、森林の持つ公益的機能を維持するため、森林ボランティアを育成することにより、健全な森づくりに取り組んでいく。
15	林野保護対策事業		山火事防止等の普及啓発	森林公園周辺の古賀志山などへの登山者や一般市民など	林野パトロール	計画どおり	23	S40		近年のハイキングブーム等で身近な山林に入る市民が増加傾向にあることから、人為的な要因による林野火災発生を防止するため、県、消防、警察などの関係機関と連携を図りながら、注意喚起を行うとともに、職員による林野パトロールの強化に取り組んでいく。
16	とちぎの元気な森づくり事業		・里山林の整備・管理 ・森を育む人づくり	・地域に親しまれている里山林等 ・市民	・里山林の整備と管理 ・木の良さの普及啓発	計画どおり	1,091	H20		里山林の整備後における管理の担い手確保を図るため、自治会や森づくり団体への周知による事業の掘り起こしや実施団体の育成などに取り組んでいく。
17	林道整備事業補助金		・生産性の高い林業の確立 ・林産物の生産拡大の推進	・宇都宮市森林組合	・林道・作業道の維持補修に対する補助	計画どおり	4,274	S45		森林の生産性向上と林業経営の安定を図るため、使用頻度が高く、補修等を短期間に行う必要がある路線について、林道の舗装や側溝などの整備に取り組んでいく。
18	林道整備事業単独		・市有林道の適正管理	・市有林道	・林道の維持補修	計画どおり	4,329	S45		適正な森林施業を図るため、使用頻度が高く、補修等を短期間に行う必要がある路線について、林道の舗装や側溝などの整備に取り組んでいく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆農林業従事者の減少及び高齢化に伴い、農地・水環境や森林資源の適切な安全管理が厳しい状況であるとともに、耕作放棄地の増加や集落におけるコミュニティ機能や農村の活気が低下し、農村環境や良好な景観を維持することが困難になりつつあり、農業・農村が有する多面的機能を維持・向上できるよう、農業者と地域住民が一体となった農資源の保全活動の充実が必要である。</p> <p>◆有害鳥獣対策については、これまで被害者自らがイノシシの捕獲や防除対策を実施してきたところであるが、イノシシの生息域の拡大に伴い被害が深刻化しており、効果的な対策を講じる必要がある。</p>
	<p>〈施策全般〉</p> <p>◆農林業が持つ多様な公益的機能の維持・向上を図るため、農地・農村環境の多面的機能(環境保全、水源涵養、景観形成など)について、生産者や地域住民等への理解促進を図るとともに、環境保全型農業の推進や農地・農村環境の保全・管理の取組などを支援する。</p> <p>〈主要事業〉</p> <p>◆環境保全型農業直接支援対策事業:国における「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」の施行を踏まえ、地域における農地、農業用水等の保全のための共同活動が推進されるよう、制度の周知を図る。</p> <p>◆水田農業構造改革交付金(再掲):農薬・化学肥料の5割以上の削減により栽培する「特別栽培米」の生産振興に取り組むことにより、環境保全型農業の普及を図るとともに、多様な消費者ニーズに対応した付加価値の高い米づくりを推進する。</p> <p>◆県経営体育成基盤整備事業負担金:農村環境や水辺環境の保全など、多面的な機能が十分発揮されるよう、環境に配慮した土地改良事業を推進するとともに、基盤整備の実施を通じて担い手への農地利用集積を促進していく。</p> <p>◆鳥獣被害対策事業報償金:捕獲者の高齢化及び担い手不足などの深刻な課題を解消するため、平成28年度から実施部隊を設置し、実施部隊による組織的な捕獲や集落一体となった被害対策を実施するとともに、捕獲したイノシシについて収集・運搬及び焼却処分を委託し、捕獲者の負担軽減を図っていく。</p> <p>◆民有林整備事業補助金:材価の低迷や林業従事者の高齢化などにより、施業面積が減少傾向にあることから、森林の持つ公益的機能を維持するため、森林組合等に下刈りや間伐など民有林整備の支援に取り組んでいく。</p>
	<p>〈その他個別事業〉</p>